

平成30年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	主要市道整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	貞方 敦雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	事業量を拡大するため、国の交付金の導入を積極的に図る。	③平成30年度に取り組む改革・改善内容	国の交付金を活用し事業を進めるとともに、用地取得済個所については簡易舗装を行い、歩行者空間を確保する。
②①に基づく取り組み結果	社会資本整備総合交付金を導入した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	主要市道	意図(対象をどうするのか)	測量、設計、用地補償、工事を行う。
②事務事業の概要	安全で快適な道路網整備のため、主要市道における歩道の整備、危険箇所の線形改良、排水整備、舗装改良を実施し、歩行者等の安全と交通の円滑化を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	事業開始前は、主要市道でも歩道が無く交通量に見合った幅員や舗装となっていなかった。住民の要望が満足となるよう本事業を推進する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	主要市道の舗装改良、排水整備及び用地取得を実施した。 市道33号線舗装改良工事(L=229.0m)、市道19号線舗装改良工事(L=166.7m)、市道22号線舗装改良工事(L=179.5m)、市道33号線排水整備工事(L=46.5m)、市道26号線用地取得(A=346.89㎡)					
②成果を表す指標	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i 工事延長	2,362	1,068	622	m	業務取得
	ii 工事延長【平成23年度から累計】	5,726	6,794	7,416	m	業務取得
	iii 「道路の状況」不満足度	-	-	-	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算(事業費)の主な内訳		平成30年度予算	
事業費(千円)	289,032	81,541	金額(千円)	内容	132,425	
国支出金(千円)	80,315	35,918	18,429	市道33号線舗装改良工事	67,729	
県支出金(千円)			12,623	市道19号線舗装改良工事		
市債その他(千円)	107,300	26,400	10,022	市道22号線舗装改良工事	53,081	
一般財源(千円)	101,417	19,223	9,289	市道26号線用地購入費	11,615	

IV 評価・検討

①課題	市の主要な道路でも、歩道が無い箇所や狭い箇所が多く、交通量に見合った幅員や舗装構成になっていない。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げたため、主要市道の整備は不可欠である。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	舗装改良工事、軽井沢周回道路第2期整備事業、用地取得	平成29年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	舗装改良工事、軽井沢周回道路第2期整備事業、用地取得	124,848	139,110	当初	124,848	81,541	H28からの繰越	14,986
				H28→29繰越	14,986			
③達成状況	未完了			補正			現年分	66,555
④未完了・非着手の理由	用地取得に係る業務が年度内に完了しなかったため。			流用・充当	-724			
		平成30年度への繰越額(単位:千円)						5,697

平成30年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	交差点改良事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	貞方 敦雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市道22号線交差点改良について、引き続き交差点部の路線測量を実施する。	③平成30年度に取り組む改革・改善内容	交差点の安全性を早期に向上させるため、工事予定箇所の早期発注を行う。
②①に基づく取り組み結果	市道22号線交差点部の路線測量を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	主要市道の交差点	意図(対象をどうするのか)	交差点の改良による安全性の向上・交通渋滞の緩和
②事務事業の概要	安全で快適な道路網整備のため、主要な交差点の右折車線、歩道の整備、交差点形状の改良を行い交通渋滞の緩和、交差点付近の安全性の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	視界が悪く、歩行者が横断待ちするためのスペースの無い危険な交差点や、自動車交通量の増加に伴い、渋滞が発生している交差点がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	市道22号線交差点部の路線測量を実施したほか、市道3・4号線交差点の予備設計を実施し道路法第95条の2に基づく協議を行い、買収予定地の用地測量を実施した。				
②成果を表す指標	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	算定根拠
	i 工事実施箇所(累計)	5	5	5	箇所 業務取得
	ii 「道路の状況」不満足度	—	—	—	% 市民意識調査
	iii				
③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算(事業費)の主な内訳		平成30年度予算
事業費(千円)	2,621	3,370	金額(千円)	内容	31,015
	国支出金(千円)		2,603	市道22号線交差点路線測量委託	
	県支出金(千円)		324	市道3・4号線交差点予備設計委託	
	市債その他(千円)		357	市道3・4号線交差点設計協議委託	
	一般財源(千円)	2,621	3,370	86 市道3・4号線用地測量委託	31,015

IV 評価・検討

①課題	幅員が狭く見通しの悪い市道の交差点が多い。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	交差点改良の要望が多く、市民の安全のため早期に交差点改良を行う必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	市道22号線路線測量	平成29年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	市道22号線路線測量、市道3・4号線予備設計委託及び用地測量	3,000	3,370	当初	3,000	H28からの繰越	0
				H28⇒29繰越			
③達成状況	完了			補正		現年分	3,370
				流用・充当	370		
④未完了・非着手の理由		平成30年度への繰越額(単位:千円)					0

平成30年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	一般市道整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	貞方 敦雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	コスト削減のための整備手法の更なる検討。	③平成30年度に取り組む改革・改善内容	事業効果の高い一般市道を選定し、効率的に工事を実施する。
②①に基づく取り組み結果	設計比較及び再生材を使用してコスト削減を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	一般市道	意図(対象をどうするのか)	安全でゆとりのある道路に整備する。
②事務事業の概要	道路排水施設の整備、舗装新設、狭あい路線の拡幅を行い地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	生活道路となる一般道路が未整備で、舗装整備や道路排水整備の必要があります。住民の生活環境が向上するよう本事業を推進する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	一般市道の排水整備、舗装新設及び現況測量を実施した。 市道3704号線舗装新設工事(L=74.3m)、市道4333号線排水整備工事(L=53.6m)、市道2107号線現況測量委託(L=694m)					
②成果を表す指標	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i 工事延長	164	625	128	m	業務取得
	ii 工事延長【平成23年度から累計】	2,618	3,243	3,371	m	業務取得
	iii 「道路の状況」不満足度	-	-	-	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算(事業費)の主な内訳		平成30年度予算	
事業費(千円)	43,850	14,307	金額(千円)	内容	19,000	
国支出金(千円)	3920		6,023	市道3704号線舗装新設工事		
県支出金(千円)			5,020	市道4333号線排水整備工事		
市債その他(千円)	2400	9,900	2,192	市道2107号線現況測量委託	12,600	
一般財源(千円)	37,530	4,407			6,400	

IV 評価・検討

①課題	道路排水施設の未整備箇所、舗装の不良箇所が多い。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げたため、一般市道の整備は不可欠である。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	舗装等整備、現況測量	平成29年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	市道3704号線舗装新設工事、市道4333号線排水整備工事、市道2107号線現況測量委託	31,000	30,471	当初	31,000	14,307	H28からの繰越	0
				H28⇒29繰越			現年分	14,307
③達成状況	完了			補正				
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-529			
		平成30年度への繰越額(単位:千円)				0		

平成30年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	私道整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	貞方 敦雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成27年度の私道舗装整備要綱の改正により、舗装整備工事に加え舗装補修工事についても実施する。	③平成30年度に取り組む改革・改善内容	整備要綱の改正により、新規舗装だけでなく、補修工事についても対象となったことから、広報等により広く市民に周知していく。
②①に基づく取り組み結果	舗装整備工事及び舗装補修工事を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	私道	意図(対象をどうするのか)	舗装整備工事、舗装補修工事を行う。
②事務事業の概要	未舗装私道の舗装及び舗装済み私道の補修を推進し、地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	事業開始当初は多くの私道が未舗装で日々の生活や環境・衛生面に悪影響を及ぼしていたが、本事業の推進により未舗装区間が少なくなってきた。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	舗装整備工事及び舗装補修工事を実施した。 整備工事(L=29.5m)、補修工事(L=278.5m)					
②成果を表す指標	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i 工事延長	0	355	308	m	業務取得
	ii 工事延長【平成23年度から累計】	898	1,253	1,561	m	業務取得
iii 「道路の状況」不満足度	—	—	—	%	市民意識調査	
③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算(事業費)の主な内訳		平成30年度予算	
事業費(千円)	8,698	4,843	金額(千円)	内容	530	
国支出金(千円)			1,199	舗装整備工事		
県支出金(千円)			3,634	舗装補修工事		
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	8,698	4,843			530	

IV 評価・検討

①課題	私道舗装整備要綱の見直しを図り、補修工事についても実施することになったことから、この制度を広く市民に周知すること。				
②評価	i 市関与の妥当性	2普通	iii 公平性	2普通	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	公共性の高い私道もあることから、事業を進めていく必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	私道組合(舗装整備工事、舗装補修工事)	平成29年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	私道組合(舗装整備工事、舗装補修工事)	6,700	6,374	当初	6,700	4,843	H28からの繰越	0
				H28⇒29繰越			現年分	4,843
③達成状況	完了			補正				
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-326			
		平成30年度への繰越額(単位:千円)						0

平成30年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	貞方 敦雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	境界が確定となるよう事業主体である千葉県と連携を図っていき、引き続き用地交渉を実施する。	③平成30年度に取り組む改革・改善内容	用地に関する情報について、千葉県と情報共有を図りながら、効率的に用地取得を進める。
②①に基づく取り組み結果	事業主体である千葉県と連携を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・4・5号線	意図(対象をどうするのか)	整備することで交通の利便性を向上させる。
②事務事業の概要	県道船橋我孫子線のバイパスとしての都市計画道路であり、市域東側の主動線を確保し、県が事業主体となり事業を施行する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	南初富区間から新鎌ヶ谷地区まで供用開始したことにより、県道船橋我孫子線のバイパスとしての機能を発揮することが求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	地権者との交渉が難航し用地取得できなかった。					
②成果を表す指標	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i 都市計画道路整備延長	12,169	12,169	12,169	m	業務取得
	ii 都市計画道路整備率	33	33	33	%	業務取得
iii 「道路の状況」不満足度	—	—	—	%	市民意識調査	
③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算(事業費)の主な内訳		平成30年度予算	
事業費(千円)	0	284	金額(千円)	内容	1,000	
国支出金(千円)			284	市町村負担金		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	0	284			1,000	

IV 評価・検討

①課題	境界が未確定の箇所があり、確定させる必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	機能的な道路ネットワークの構築や利用者の利便性・安全性の向上を図るべく道路の完成を目指す必要性があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	地元負担金	平成29年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	地元負担金支出	1,000	1,000	当初	1,000	284	H28からの繰越	0
				H28⇒29繰越			現年分	284
③達成状況	完了			流用・充当				
④未完了・非着手の理由		平成30年度への繰越額(単位:千円)					0	

平成30年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業(中沢)	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	貞方 敦雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	都市計画道路用地と調節池用地の重複する箇所について、代替地を取得する。	③平成30年度に取り組む改革・改善内容	一級河川大柏川第二調節池整備事業の進捗に支障とならないように用地取得を進める。
②①に基づく取り組み結果	用地取得に係る物件調査及び不動産鑑定委託を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・4・10号線	意図(対象をどうするのか)	測量及び用地取得を行う。
②事務事業の概要	一級河川大柏川第二調節池整備事業の進捗に合わせ、都市計画道路の整備を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	本市の中心部から市川への主要な道路として、当該都市計画道路の整備を一級河川大柏川第二調節池整備事業に合わせ一体的に事業を進めていく。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	用地取得に係る物件調査及び不動産鑑定委託を実施した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	都市計画道路整備延長	12,169	12,169	12,169	m	業務取得
	ii	都市計画道路整備率	33	33	33	%	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	—	—	—	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算(事業費)の主な内訳			平成30年度予算	
事業費(千円)	78,724	1,197	金額(千円)		内容	28,778	
	国支出金(千円)		624		不動産鑑定委託		
	県支出金(千円)		491		物件調査委託		
	市債その他(千円)						
	一般財源(千円)	78,724	1,197			28,778	

IV 評価・検討

①課題	一級河川大柏川第二調節池整備事業との整備計画の整合を図ること。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	一級河川大柏川第二調節池整備事業の進捗状況と合わせ周辺の一体的な整備が必要である。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	用地取得	平成29年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	物件調査、不動産鑑定委託	29,975	29,975	当初	29,975	1,197	H28からの繰越	0
				H28⇒29繰越				
③達成状況	未完了			補正			現年分	1,197
④未完了・非着手の理由	一級河川大柏川第二調節池整備事業用地と併せて購入する必要があり、年度内の完了に至らなかった。	平成30年度への繰越額(単位:千円)						28,778

平成30年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	貞方 敦雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	事業量を拡大するため国の交付金の導入を図り、用地取得を積極的に進める。	③平成30年度に取り組む改革・改善内容	事業推進のため、より多くの交付金を活用できるよう、関係機関との連携強化を図る。
②①に基づく取り組み結果	交付金を導入し、用地取得を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・3・16号線、都市計画道路3・4・10号線	意図(対象をどうするのか)	用地取得を行う。
②事務事業の概要	当該都市計画道路の整備により、新鎌ヶ谷地区内に発生する集中交通を円滑に処理する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	新鎌ヶ谷特定土地区画整理事業により交通の発生集中が生じていることから、平成25年度から本事業を開始した。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	用地取得を実施した。(A=123.48m <sup>2</sup> )					
②成果を表す指標	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i 都市計画道路整備延長	12,169	12,169	12,169	m	業務取得
	ii 都市計画道路整備率	33	33	33	%	業務取得
	iii 「道路の状況」不満足度	—	—	—	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算(事業費)の主な内訳		平成30年度予算	
事業費(千円)	100,787	81,577	金額(千円)	内容	115,330	
国支出金(千円)	38,985	43,006	15,600	用地購入費	60,600	
県支出金(千円)						
市債その他(千円)	53,500	30,500			44,500	
一般財源(千円)	8,302	8,071			10,230	

IV 評価・検討

①課題	当該都市計画道路は東西にアクセスする道路がないため、早期に事業を進めていく必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	市内中心部の交通を円滑に処理し、道路利用者の安全性や利便性の向上を早急に図る必要性があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	用地取得	平成29年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	用地取得、物件調査、物件調査詳細設計委託	99,465	126,865	当初	99,465	81,577	H28からの繰越	28,163
				H28⇒29繰越	28,163			
③達成状況	未完了			補正			現年分	53,414
④未完了・非着手の理由	物件調査及び用地交渉に不測の時間を要したため。			流用・充当	-763			
		平成30年度への繰越額(単位:千円)						13,161

平成30年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	道路維持・補修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	2	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川管理課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	永末 昇			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	日常点検を含む法定点検に対応した市の点検方法の制定。	③平成30年度に取り組む改革・改善内容	日常点検を含む法定点検に対応した市の点検方法の制定。
②①に基づく取り組み結果	国基準等の情報収集を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	老朽化し、損傷した市道の舗装及び道路付帯施設	意図(対象をどうするのか)	市民の安全性・利便性の確保
②事務事業の概要	市民要望や市内パトロール等により得た情報を元に、調査・検討を行い必要に応じて道路補修を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	道路施設の点検が法令で義務化されるなど、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理方式への転換に対応する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	○道路補修・清掃委託 ○排水管(溝)清掃委託 ○道路維持工事					
②成果を表す指標	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i 「道路の状況」満足度	14.5	-	-	%	市民意識調査
	ii 道路パトロール日数	128	128	128	日	業務取得
	iii					
③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算(事業費)の主な内訳		平成30年度予算	
事業費(千円)	169,052	108,104	金額(千円)	内容	148,095	
国支出金(千円)	11,567	1,452	52,995	維持補修等工事	22,935	
県支出金(千円)		0	54,250	道路補修・清掃等委託	0	
市債その他(千円)	17,400	0	859	道路愛護活動報償費	0	
一般財源(千円)	140,085	106,652			125,160	

IV 評価・検討

①課題	市民要望やパトロールにより随時行う補修・更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理への対応。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	道路及び排水管の清掃、維持補修工事・道路施設の点検	平成29年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	道路及び排水管の清掃、維持補修工事・道路施設の点検	109,500	110,427	当初	109,500	108,104	H28からの繰越	0
				H28⇒29繰越	0		現年分	108,104
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	927			
		平成30年度への繰越額(単位:千円) 0						